



1873→2024

たすけあい かたりあい わかりあい しんじあい

# 高鷲小学校だより

令和6年度 11月号

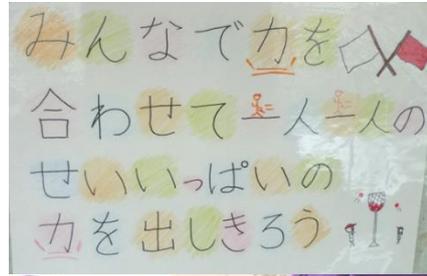
令和6年11月1日  
羽曳野市立高鷲小学校  
発行：校長 小島 博之

## 「みんなで力を合わせて一人一人のせいっぱいの力を出し切ろう」

10月13日は文字通り「雲一つない見事な秋空」の下、代表委員がものすごく一生懸命考えてくれた標題のスローガンを宣言し、今年の運動会がスタート。私は、16年前に作った「なつかしい高鷲小学校」Tシャツと、今年作った「ONE TEAM Takawashi」ポロシャツを出し（どちらも高鷲カラーの紫）「ものすごく頑張った運動会はいつまでも思い出に残るもの。今日終わったとき、何年かたってからも、よかったねとみんなで言えるようにしたいね」と話しました。

プログラムがスタートしてからは、各学年の演技や競技を一生懸命頑張る姿とともに、応援席や参観ゾーンからの声援に加え、音楽に合わせて一緒に踊っていたり、静寂の鑑賞のあとの割れんばかりの拍手が鳴りやまななかったり、真剣さと和やかさで一体感に包まれました。10月中旬としては想定外の暑さでしたがみんな元気で、お昼前の閉会式で整列した高鷲っ子はよく焼けた顔と白い歯がこぼれていました。【たすけあい かたりあい わかりあい しんじあい】高鷲のみんなで一緒につくった素晴らしい運動会になりました。

写真が紙面に収まりきれないので、裏面に「ちょこっとギャラリー」をつくりました。あらためて高鷲っ子に「がんばったね!」を送ります。



### ◆「たかわし」を大切に～「なつかしい」「あたらしい」高鷲小学校の「おしごと」の姿

運動会はみんなでつくるものです。特に高学年は委員会活動や係活動で、自分たちで考えたスローガンを達成するために運動会でどれも欠かせない「おしごと」を分担してやりきってくれました。

中でも、10月11日の運動会準備では、各係活動のおしごとの確認をするとともに、テントの設営やグラウンド整備、入退場門を立てる会所の土や水さらい等、校内のいたるところで汗を流していました。あまりにも一所懸命なお仕事ぶりに「もうそれぐらいいいと思うよ」と私が声をかけても「まだまだ～」と取り組む姿はまさしく「職人魂」です。私が以前いた時からこの姿は変わりません。「なつかしい高鷲小学校」と「あたらしい高鷲小学校」がシンクロして、【たすけあい かたりあい わかりあい しんじあい】おしごとする高鷲っ子の姿に、清々しい気持ちになりました。



## ◆11月行事予定(12月主なもの)は裏面に掲載しています。ご確認よろしくお願ひします。

10月13日の運動会は新しい形で実施しましたが、保護者や地域のみなさまのご理解ご協力により、高鷲っ子にとって大変実りのある行事となりました。あらためて心よりお礼を申し上げます。

11月は各学年の校外学習や6年生修学旅行があります。お弁当はじめ様々ご準備よろしくお願ひします。また、研究会や懇談会等で変則的な時間割が続きますが、重ねてご協力よろしくお願ひします。個人懇談会ではお子さまの成長についてご家庭と学校で共有できる時間にしたいですね。

あわせて、別紙及び学校HPにて、今年度の全国学力・学習状況調査の本校の分析をお知らせします。今回お知らせする結果は学力や学習状況の一部であり、子どもたちの学力や学習状況、学校の教育活動などのすべてを表すものではありません。6年生だけでなく高鷲小全体の授業はじめ教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てていきます。ご理解ご協力よろしくお願ひします。

## 「〇〇の秋」その2～食と学び～生きるやりとり

10月16日に3年生が先月イチジクをいただいた「はびきの農家の煮込み会」への「お礼の会」がありました。農家の方お二人から「羽曳野でイチジクを食べたことない人が多い。一生食べないかも「おいしいものをぜひ食べてもらいたい。」とイチジクと羽曳野の子どもたちへの熱い思いとともに、「1か月でどれくらい収穫しますか」「なぜ紫色ですか」など次々出る深く鋭い高鷲っ子の質問に優しく答えていただきました。同行の羽曳野市村田教育長から「君たちのメッセージに泣いた」と褒められた「イチジクの木のお礼」を農家の方にお渡しし、人の思いがあふれる温かい出会いになりました。

10月31日に『おすしやさんにいらっしやい』著者の「すし作家」おかだすけさんが、大阪府「オーサービジット事業」で来校されました。入口にしつらえた暖簾をくぐり体育館に入った高鷲っ子全員の呼びかけに応じ、すし職人の衣装で登場したおかださん。「生き物は食べ物になって君たちの体の一部になる。私たちはたかさんの命でできている。」「料理でも何でも、できないのはやらないから。毎日やっているからできる。」とお話しながら、あざやかな包丁さばきで魚(生き物)からお寿司(食べ物)をつくられました。「おいそう～」「おなかすいた～」「魚かわいい」「本を書いている人に初めて会った」大満足の高鷲っ子。給食の魚を観察する子も。おかださんも、高鷲っ子の元気さと体育館の作品や感想文に感心され、図書館の本に「へい、おまち!」のサインをいただきました。



## ◆「たかわし」を大切に～「みんな大切な高鷲っ子 みんなで見て みんなで育てる」

10月27日に「高鷲ふれあいフェスティバル」がありました。校区育成協主催で、地域のみなさまにご尽力いただき運動場に並んだ屋台の出店やミニ運動会などで大盛り上がり。朝早くからチケットを得て楽しむたかさんの高鷲っ子の姿に「やっぱり子どもたちって元気ですね～やってよかったわ～」とおっしゃる地域の方の声に、高鷲っ子がこの地域の多くの方に支えていただいているんだなあと、あらためて実感できました。

